長崎市

令和７年度
宿泊税活用事業実績

宿泊税は、訪問客が快適に観光できる環境づくりに活用します。



2026年10月

宿泊税の活用方針（5つの柱）

方針1
サービス向上・消費拡大

もっと楽しめる体験を増やす

長崎ならではの朝・夜の体験やガイド育成で、滞在時間と消費機会を広げる。

方針2
情報提供

必要な情報がすぐ見つかる

ワンストップで分かりやすい情報提供を行う。

方針3
受入環境整備

快適に過ごせる環境を整える

案内所、サイネージ、多言語案内、トイレ改修など受入体制を強化する。

方針4
資源磨き

魅力をさらに引き出す

歴史的建造物の保存・活用やユニークベニュー支援で魅力を磨く。

方針5
緊急時の対応等

需要回復や喚起を支える備え

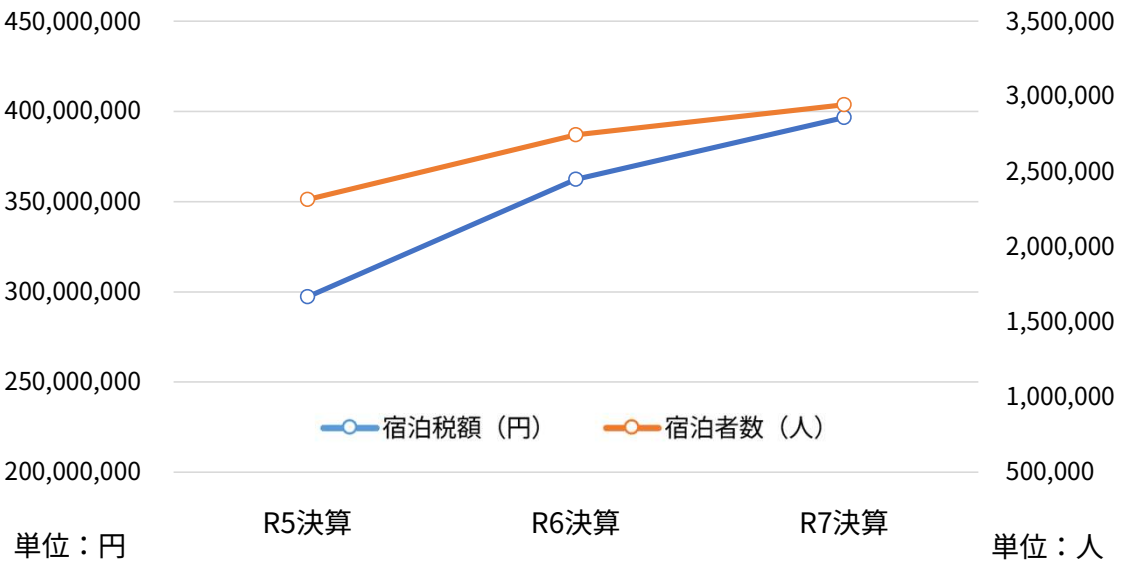
基金を活用し、需要の回復や更なる盛り上げを行うキャンペーン等を迅速に実施する。

宿泊税は、訪問客への還元につながる事業に充当。

宿泊税の徴収実績（R5〜R7）

年度	宿泊税額 (円)	宿泊者数 (人)
R5 決算	297,171,000	2,313,726
R6 決算	362,432,700	2,775,404
R7 決算	**396,720,900**	**2,944,732**

※ R5は11か月分



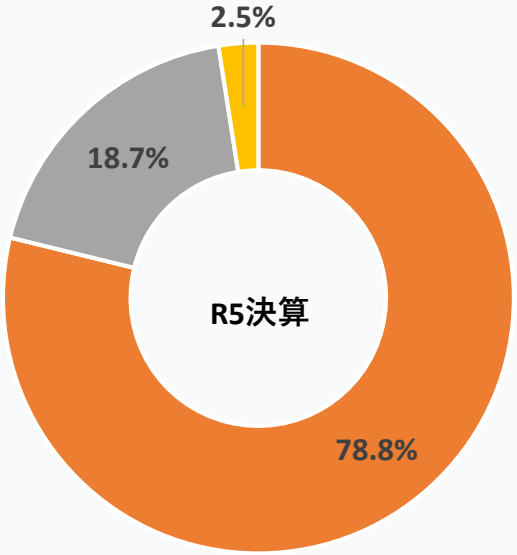
【補足】R6とR7の比較

宿泊者数 （R6）2,775,404人（R7） 2,944,732人 **(+169,328人)**　　**宿泊税額** （R6）362,432,700円 （R7）396,720,900円 **(+34,288,200円)**

宿泊税額の内訳（R5～R７）

■100円 ■200円 ■500円

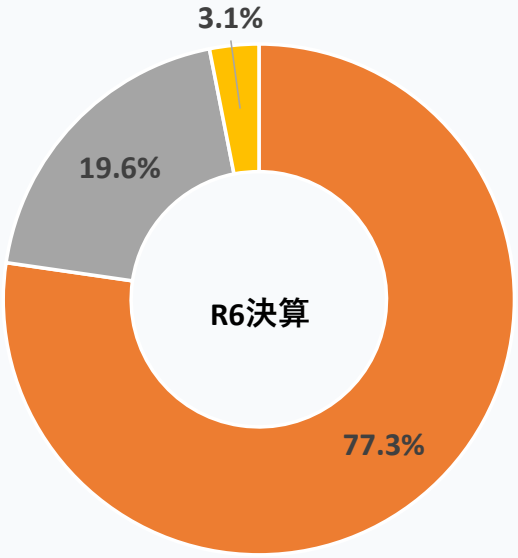
※10,000円未満：**100円**
10,000円以上、20,000円未満：**200円**
20,000円以上：**500円**



令和５年度決算

100円：182,296,300円
200円：86,622,200円
500円：28,252,500円

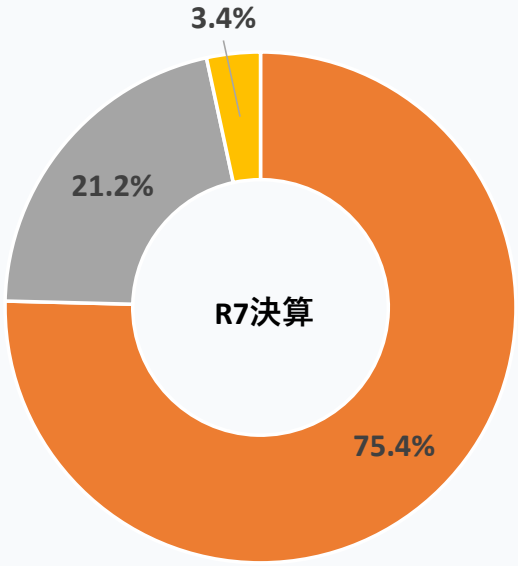
合計：297,171,000円



令和６年度決算

100円：212,433,000円
200円：107,407,200円
500円：42,592,500円

合計：362,432,700円

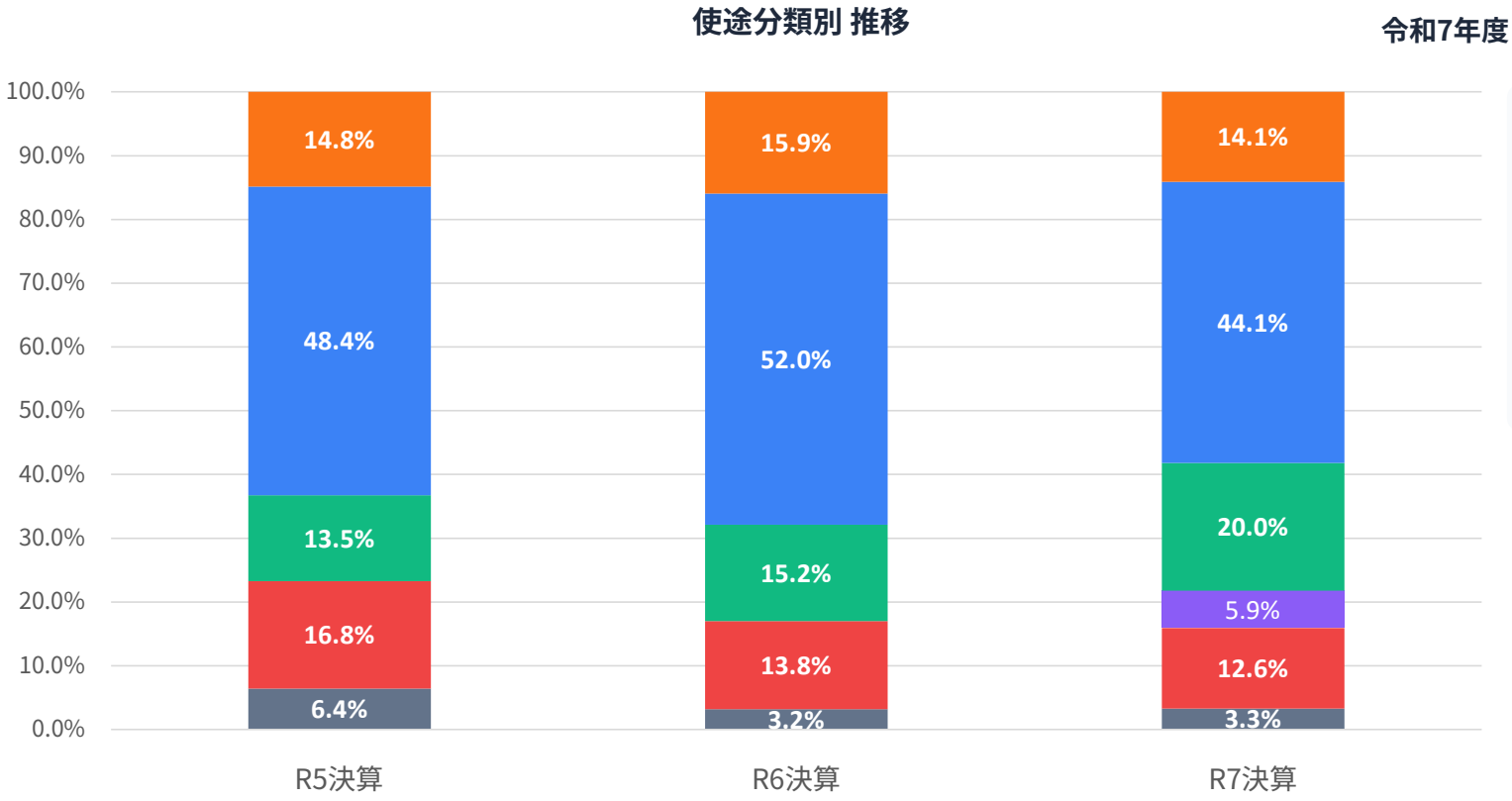


令和７年度決算

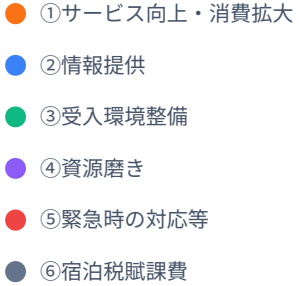
100円：222,133,400円
200円：124,741,000円
500円：49,846,500円

合計：396,720,900円

税収の使途構成と推移（R5～R７）



令和7年度 宿泊税の構成（総額：396,720,900円）



令和７年度決算の主な内容

資源磨きで新たな事業へ充当

情報提供は事業見直しにより昨年度より減

サービス向上・消費拡大は体験強化・誘客施策で昨年度よりも拡充

税収の使途及び活用額（R6～R7比較）

（単位：円）

分　類	令和６年度 宿泊税充当額	令和７年度 宿泊税充当額	R7-R6比較	増減の主な内容
① サービス向上・消費拡大	57,660,141	56,039,570	▲1,620,571	・観光地域づくり推進費における多言語対応事業の見直しによる減
② 情報提供	188,295,009	175,057,189	▲13,237,820	・観光地域づくり推進費におけるプロモーション施策の対象や内容の精査・見直しに伴う減
③ 受入環境整備	54,914,903	79,284,149	24,369,246	・（新規）タッチ決済導入事業費補助金 ・（新規）稲佐山公園内便所改修費（洋式化、暖房便座化）
④ 資源磨き	0	23,210,000	23,210,000	・旧英国領事館展示室等の整備
⑤ 緊急時の対応等	50,000,000	50,000,000	0	・観光交流基金積立（緊急時の対応など）
● 宿泊税賦課費	11,562,647	13,129,992	1,567,345	・宿泊税の徴収額が増したことによる徴収事務報奨金の増
合　計	362,432,700	396,720,900	34,288,200	

令和7年度
宿泊税の主な活用成果と効果

① サービス向上・消費拡大

観光地域づくり推進費

宿泊税活用額	33,857,965円
事業費決算額	37,538,941円

観光サービスの強化と高付加価値化

多様なニーズに合う体験メニューとガイド人材を増やし、滞在時間と消費を伸ばします。



主な取組内容

- 高付加価値コンテンツの販売
- 英語対応可能な有償ガイドの育成
- 食の多様性対応支援 など

令和7年度事業の成果

- 高付加価値コンテンツの予約販売金額　5,244,130円
- 英語対応可能な有償ガイド「Nagasaki Crew」の育成人数　24人
- 「Nagasaki Crew」案内実績　40件 延べ115名
  ※ DMOを窓口として手配した実績
- 食の多様性対応メニューの開発
  伴走支援 5事業者　開発メニュー数 12種類

事業の効果

ガイドの育成や体験コンテンツの高付加価値化、ヴィーガン・ムスリムフレンドリーに対応したメニューの開発など、インバウンド客の多様なニーズに対応する受入環境を整備することで、来訪者の満足度を高めるとともに、市内での周遊を促進し、観光消費の拡大につなげました。

効果創出のフロー

体験・ガイド造成 → 体験価値UP → 滞在時間の延伸 → 市内消費拡大

① サービス向上・消費拡大

長崎さるく推進費

宿泊税活用額	17,258,605円
事業費決算額	37,486,140円

まち歩き観光の満足度向上と回遊促進

歩いて楽しむ長崎の魅力を深掘りし、まち歩き観光による市内回遊を促進します。





主な取組内容

・長崎さるくの利用促進

・長崎さるく予約ページの管理更新

令和7年度事業の成果

・長崎さるくWEBページの更新・管理・利用促進　9,595,744円

・長崎さるく参加者数　9,947人（前年比2,229人増加）

事業の効果

長崎さるくにおいて、さるくガイドによる案内など、まち歩きの多様な選択肢を提供し、旅の満足度を高めるとともに、周遊を促すことで観光消費の拡大を図りました。また、来訪動機の向上に努めました。

さるくによる回遊・参加イメージ



② 情報提供

観光地域づくり推進費

宿泊税活用額	133,385,485円
事業費決算額	153,677,065円

デジタルを活用した一元的な情報提供

探す手間を減らし、誰もが迷わずスムーズに行動できる環境を整えます。



主な取組内容

- デジタル広告・OTA等によるプロモーション
- 観光ワンストップサイトでの情報提供
- 市場特性に応じたセールスによる誘致活動
- MAP制作、観光Webサイトの運用 など

※OTA（Online Travel Agent）…
オンラインで宿泊施設や航空券などを予約できる旅行予約サイト。

令和7年度事業の成果

- 「travel nagasaki」Webサイト　PV数 660万PV　UU数 251万人
  ※PV数（ページビュー数）…一定期間内にサイトが閲覧された回数
  ※UU数（ユニークユーザー数）…
  一定期間内にサイトを訪問した「重複しないユーザー（人）の数」
- 国内旅行会社等への団体旅行商品提案　商品化実績 14商品 527名（前年度比　4商品増）観光消費額 17,485,860円

事業の効果

観光情報を一元的かつ多言語で発信することで、来訪者が必要な情報をスムーズに取得できるようにしました。これにより、滞在中の満足度向上や市内各地への周遊促進が期待できます。また、継続的な魅力発信や戦略的なセールスプロモーションにより、地域の認知向上や誘客促進につながりました。



② 情報提供

観光地域づくり推進費

宿泊税活用額	19,660,813円
事業費決算額	22,441,137円



MICEセールスによる誘致活動

長崎の強み・特性を発信し、MICE誘致セールスを展開します。

主な取組内容

- 長崎MICE動画のリメイク
- 主催者事務局、参加者へのTEAM NAGASAKIの誘致・セールス
  ※ TEAM NAGASAKI …
  DMO・出島メッセ長崎、ホテル及び関連事業者からなる誘致受入チーム
- 長崎MICE事業者ネットワークの活動（地元完結型PCOの拡充）
  地元完結型PCOの拡充を目的として、「地元まとめ役４社」を中心に、事例発表やサロンを開催するなど活動を強化。
  ※地元完結型PCO…　地元関連事業者で連携し、MICE準備・運営を行う組織体

令和７年度事業の成果

- 令和7年度誘致セールス件数　124件
- セールス後の継続商談件数　21件、誘致決定件数17件
  主な学会等：第82回日本消化器外科学会
  国際固体素子・材料カンファレンス（SSDM2026）
- JNTO国際会議貢献賞の受賞及び発信
  令和6年度開催　保健システム研究グローバルシンポジウム（HSR2024）

事業の効果

MICE開催都市としてのブランド強化に資する情報発信や、地元事業者と連携した誘致活動、地元完結型PCOによる受入体制に係る情報提供などを行いました。このことにより、選ばれるMICE都市としての認知度向上やMICE誘致促進につなげました。

MICE誘致セールスのモデル



② 情報提供

インバウンド誘致広域連携事業費

宿泊税活用額	10,045,694円
事業費決算額	19,727,815円

西日本・九州の魅力を一体発信し、長崎への誘客を促進

西日本・九州の自治体との広域連携に加え、県・民間と連携し、地域や平和観光の魅力を発信することで、インバウンド誘客と交流人口の拡大を目指す。



主な取組内容

- 西のゴールデンルートアライアンス事業
  - 大阪・関西万博ブース出展
- 広島・長崎連携事業
  - 外国人向け観光プログラム造成
- 海外デジタルノマド誘致支援等事業
  - モニターツアーの実施
  - コミュニティマネージャー育成

令和7年度事業の成果

- 西のゴールデンルートアライアンス事業
  - 大阪・関西万博ブース出展　来場者数77,868人
- 広島・長崎連携事業
  - 外国人向け観光プログラム造成　4本
- 海外デジタルノマド誘致支援等事業
  - モニターツアー　参加者25人
  - コミュニティマネージャー育成人数　2人

事業の効果

西のゴールデンルートアライアンスでは、欧米豪のインバウンド観光客に地域の観光資源等を発信することで、認知度向上と誘客促進につなげました。広島・長崎連携事業では、両市の相互誘客に繋げるため、それぞれ造成した平和学習プログラムを活用し、利用者が平和についてより深く考える機会を提供しました。
デジタルノマドの誘致に向けた受入環境や人材を整備し、新たな滞在・交流需要の創出とインバウンド受入基盤を強化しました。

広域ルート連携イメージ



③ 受入環境整備

タッチ決済器機導入事業費補助金

宿泊税活用額	21,358,000円
事業費決算額	21,358,000円

路面電車におけるタッチ決済の導入

キャッシュレス決済を促進するとともに、観光客や市民の利便性を向上させます。



主な取組内容

・軌道事業者が行う路面電車へのタッチ決済機器の整備及びシステム開発に係る費用の一部を助成。

事業の効果

タッチ決済の導入後、タッチ決済利用者の割合が徐々に増加しており、キャッシュレス決済の促進が図られています。また、市民だけでなく県外客やインバウンド客によるタッチ決済の利用も多く、路面電車を利用する観光客の利便性向上にも大きく寄与しています。

効果創出のフロー

タッチ決済の導入 → 決済方法の多様化 → 利便性の向上

令和7年度事業の成果

・タッチ決済器機導入車両数：69両
・クレジットカードの利用割合1.2%増（R7.10月からR8.3月までの6か月間）
・クルーズ船寄港日のインバウンド利用回数が1.5倍に増加

参考：長崎電気軌道記者発表資料「長崎電気軌道の公共交通におけるクレカ乗車採用事例」

③ 受入環境整備

公衆トイレの機能向上

宿泊税活用額	5,888,300円
事業費決算額	34,861,700円



主要公園の公衆トイレ改修

誰もが使いやすい清潔なトイレで快適性を向上させます。

主な取組内容

・観光地でもある稲佐山公園内の公衆トイレ改修

事業の効果

誰もが使いやすい清潔な衛生環境を整備することで、観光客の不便や不安を解消し、滞在時間の延長や満足度、さらには再訪意欲の向上に直結することが期待されます。

令和7年度事業の成果

・洋式化　9器
・暖房便座化　11器

整備されるトイレの機能イメージ



③ 受入環境整備

観光客受入環境整備費

宿泊税活用額	1,195,865円
事業費決算額	2,391,730円

観光時の混雑を未然に防ぐ

住民と観光の調和を図り、快適な環境を整えます。



主な取組内容

・大型クルーズ客船の入港時や大型イベント開催時の混雑解消のための警備員配置等の実施。

事業の効果

混雑が予想される日に警備員を配置するなどして、地域住民とのトラブルを未然に防ぎます。これにより、訪問客と住民の双方がストレスなく過ごせる環境を実現し、観光地全体の満足度向上につなげます。

令和7年度事業の成果

クルーズ船入港時の警備60回、大型イベント開催時の誘導１回

混雑緩和・啓発のフロー

局所的な混雑・課題 → 人の分散行動の改善 → 快適な環境保全

③ 受入環境整備

観光産業人材育成事業費

宿泊税活用額	1,717,446円
事業費決算額	1,717,446円

未来の観光人材を育てる

地域理解とホスピタリティを育む教育を通じ、持続的な観光を支える。



主な取組内容

・将来の観光産業を支える人材を育成し、地域の活性化を図るための、小中学校における「観光教育出前授業」の実施

事業の効果

早期の観光教育は、将来の観光産業を支える人材の確保と地域理解の深化に有効です。観光を通じてシビックプライドを醸成することで、長崎への愛着が高まり、まちの持続性を高めることが期待されます。

人材育成の循環フロー

学校教育（出前授業） → 地域理解・ホスピタリティ → 地域での就労・活躍 → 訪問客への持続的な観光サービスの提供

令和7年度事業の成果

・観光教育出前授業　４校実施
　内訳：仁田佐古小学校6年生　36名
　　神浦小学校3・4・5・6年生　7名
　　日吉中学校1・2・3年生　7名
　　飽浦小学校4・5年生　15名

③ 受入環境整備

観光地域づくり推進費

宿泊税活用額	37,652,828円
事業費決算額	68,298,500円

市民及び事業者のおもてなし意識向上と受入強化

来訪者が楽しめる環境を作り、回遊や消費を促します。



「長崎市フォトフェスティバル2025 」ページ

主な取組内容

・観光動向・ニーズ等に関する各種調査・分析

・市民及び市内事業者のおもてなし意識の醸成

・長崎市観光まちづくりネットワークの活性化 など

令和7年度事業の成果

・人流データ等を分析し、プロモーションやセールス等の施策に活用

・分析結果を施策へ活かすとともに事業者へも展開

・「長崎市フォトフェスティバル2025 」を開催　応募総数 977点
受賞作品の展示　R7年11月27日～12月26日（長崎市総合観光案内所内）

・長崎観光まちづくりネットワークメンバー向けセミナー
開催件数 11件　参加者の満足度 平均90.4%

事業の効果

人流データ等のマーケティングデータを分析・活用し、ターゲットや手法を最適化するとともに、来訪者との良好な交流による満足度やリピート率の向上につなげるため、フォトフェスティバルやセミナーの開催等を通じて、市民及び市内事業者のおもてなし意識の醸成や観光への理解促進を図りました。

効果創出のフロー

おもてなし
受入強化 → レビュー
評価向上 → 新規来訪・
リピーター増

④ 資源磨き

国指定重要文化財旧長崎英国領事館

宿泊税活用額	23,210,000円
事業費決算額	281,710,000円

文化財の保存と活用の好循環

公開活用に必要な展示等の整備を行い、観光資源としての価値を高めます。



旧長崎英国領事館内の展示

主な取組内容

・長崎の英国領事館や居留地の歴史、当時の英国文化を紹介する展示室、併せて野口彌太郎記念美術館として魅力あるコンテンツを整備

・QRコードの設置等による居留地の観光案内を強化

・敷地内に解説サインや旧長崎英国領事館の雰囲気を楽しめる庭園等を整備

令和7年度事業の成果

旧長崎英国領事館や旧居留地の歴史等に関する展示を行い、観光客の受入態勢充実のための観光案内機能を整備した。

事業の効果

旧長崎英国領事館は、居留地時代の英国領事館及び居留地の歴史を伝える施設として整備し、次世代へその価値を伝えるものです。また、旧居留地エリアのゲートウェイ施設としても位置づけられており、観光案内機能を強化することで、周辺エリアへの誘客とそれに伴う経済波及効果を創出します。これにより、持続可能な観光地としての価値がさらに向上することが期待されます。

効果創出のフロー

文化財の保存整備 → 観光資源としての活用 → 地域価値の向上と還元

宿泊税活用の参考指標

観光・MICE戦略のKGI（重要目標達成指標）とKPI（重要業績評価指標）（抜粋）

宿泊税を活用した様々な取組みなどにより、令和7年の観光統計において、前年と比較し訪問客数や宿泊者数、旅行消費額の増、観光動向調査による訪問客の満足度や再来訪意欲は90%台と高い数値を維持しており、訪問客の満足度・再訪意欲の向上に貢献しているものと考えられる。

指標	令和６年	令和７年	増減率
訪問客数（人）	6,540,425	6,902,993	＋5.5%
延べ宿泊者数（人）	2,937,114	3,149,506	＋7.23%
旅行消費額（億円）	2,131	2,290	＋7.46%
訪問客満足度(%) ※1	94.8	95.9	＋1.16%
再来訪意欲(%)※2	92.0	91.7	▲0.33%

※1　観光動向調査において「大変満足」と「満足」の合計
※2　観光動向調査において「大変そう思う」と「思う」の合計